



# 「いのち輝く神奈川」に向けた SDGsの取組



私たち一人ひとりの行動が、  
未来につながる。

SDGs 未来都市 神奈川県

令和元年7月5日  
神奈川県 理事（いのち・SDGs担当） 山口健太郎

# いのち輝く神奈川



# 持続可能な開発目標 (SDGs)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

【神奈川県への対応】

いのち・SDGs担当理事の設置  
SDGs推進本部の設置



# 「SDGs未来都市」選定証授与式

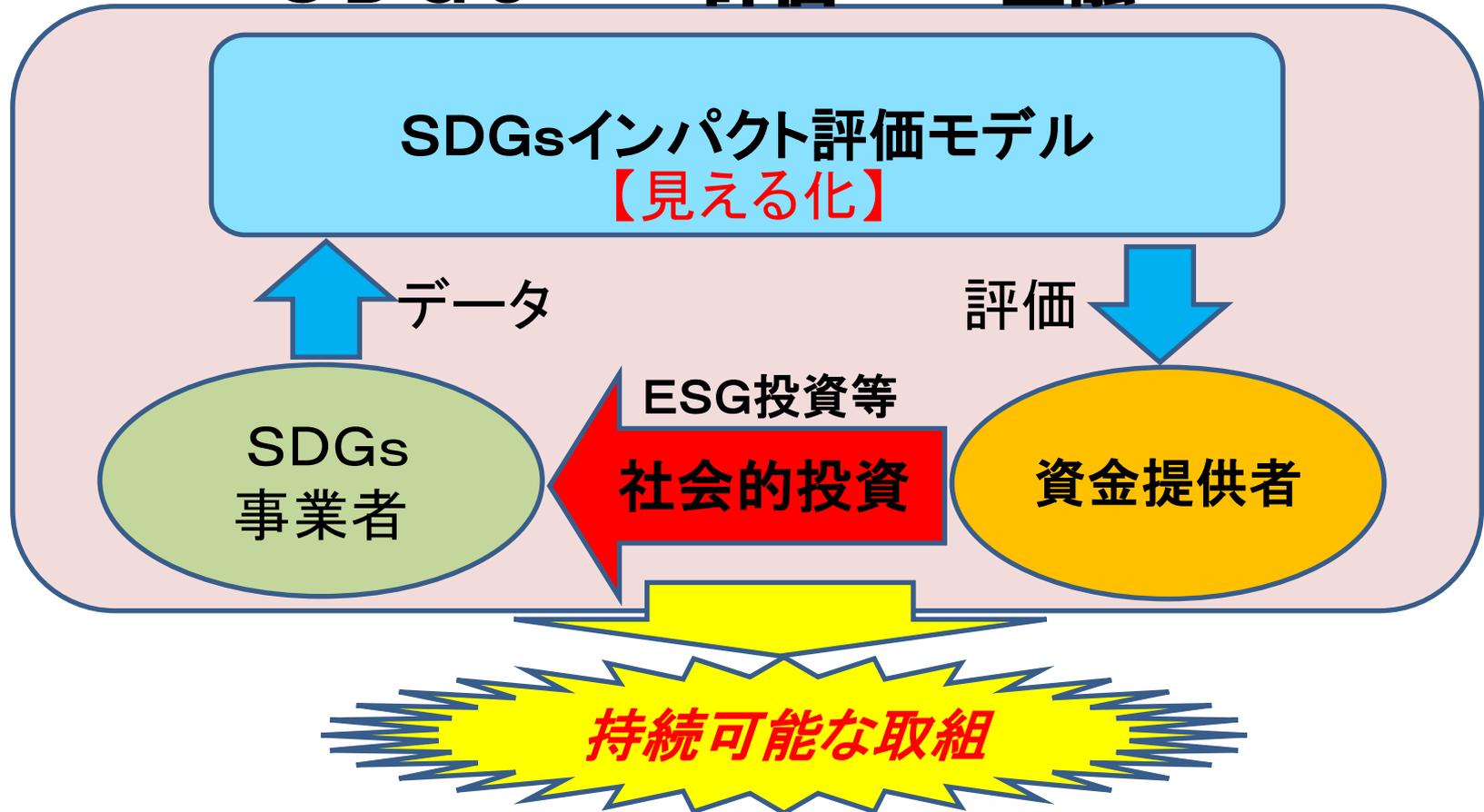
## 「SDGs未来都市」及び「自治体SDGsモデル事業」に選定



平成30年6月15日首相官邸にて

# SDGsインパクト評価実証事業

SDGs × 評価 × 金融



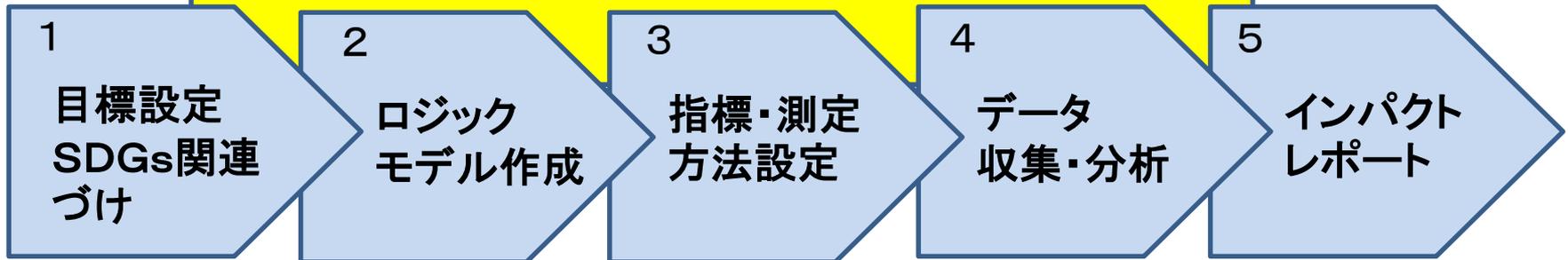
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS  
17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD



FSSTなど5事業で実証



## SDGsインパクト評価 「実践ガイド」



ワークシート1～5に沿って、インパクトを「見える化」

県HPで公開、ワークショップ等で普及へ

# かながわのSDGs重点テーマ

## ○クジラからのメッセージ 「かながわプラごみゼロ宣言」



## ○健康寿命の延伸に向けた「未病改善」



## ○すそ野を広げる「パートナーシップ」 & 「普及啓発」



# 鎌倉由比ガ浜にシロナガスクジラの赤ちゃんが漂着

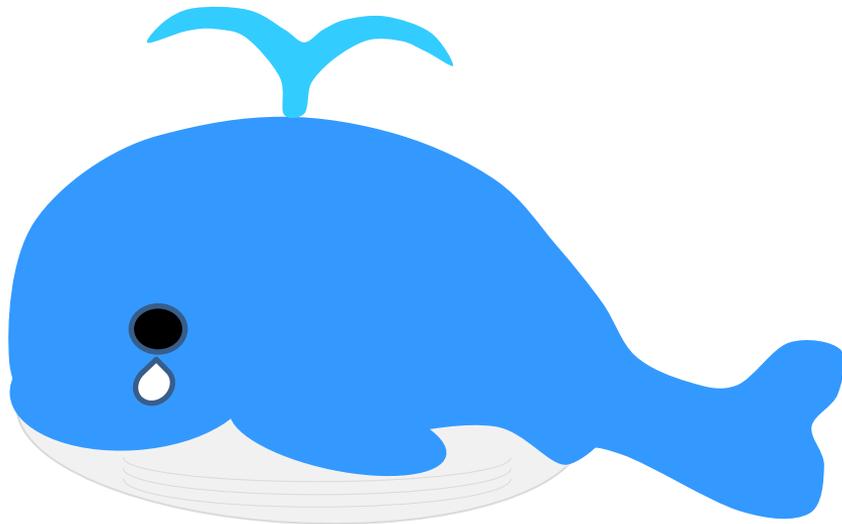


2018. 08. 05

# かながわプラごみゼロ宣言

～クジラからのメッセージ～

**2030年までに、リサイクルされない、  
廃棄されるプラごみゼロ**



私たち一人ひとりの行動が、  
未来につながる。

SDGs 未来都市 神奈川県

# マイエコ10宣言（プラごみゼロ版）

## トライ！ マイエコ10宣言 《プラごみゼロ宣言バージョン》

プラスチックによる海洋汚染を防ぐため、16の「プラごみゼロ宣言」に関するメニューの中からできそうなことを10個選んでみましょう！  
そして、ぜひ実践しましょう！

<p>①プラスチック製ストローの使用は控える</p> 	<p>②マイバッグを持参しレジ袋はもらわない</p> 	<p>③マイボトル、マイ箸を持ち歩く</p> 	<p>④お店でプラスチック製スプーン等をもらわない</p> 
<p>⑤スーパーなどで食品を小分けにするポリ袋の使用を減らす</p> 	<p>⑥ごみの少なくなるものを選んで買う</p> 	<p>⑦食品の保存の時はふたつき容器を使う</p> 	<p>⑧買い物の時には、簡易包装を頼む</p> 
<p>⑨海岸などでのレジャーのあとは、ごみを持ち帰る</p> 	<p>⑩海岸などのごみ拾いに参加する</p> 	<p>⑪使っているものの識別マークを確認する</p> 	<p>⑫プラごみはルールに従って、分別して出す</p> 
<p>⑬自分がどのくらいプラごみを出しているか考えてみる</p> 	<p>⑭プラごみがどのようにリサイクルされるか調べてみる</p> 	<p>⑮家族や友人にプラごみを減らすよう呼びかける</p> 	<p>⑯プラごみによる海洋汚染について調べてみる</p> 

# 「プラごみゼロ」をめぐる動き

KEIKYU

京急グループ

生分解性ストロー  
へ切り替え（4月～）



カネカと生分解性ストロー  
を共同開発（導入秋～）



「リ्यूーザブル・カップ」  
「リ्यूーザブル・ストロー」を  
神奈川県内で限定販売（～5/末）

# 日本のプラスチック・リサイクル率 84%

○ **マテリアル・リサイクル (モノ→モノ) 23%**

しかし、「劣化」「海外15%(国内8%)」

○ **ケミカル・リサイクル (分子→素材) 4%**

しかし、「コスト・設備」がかかる

○ **サーマル・リサイクル (熱回収) 56%**

しかし、「CO2発生源」 海外では「リサイクル」と認めず



**新たなリサイクル・システムが必要!**

# 新素材開発の事例（LIMEX）

LIMEXとは

## 石灰石を主成分とする、 エコロジーとエコノミーを両立する革新的新素材

1

紙・プラスチックの代替となる新素材

(『LIMEX』の基本特許は世界40か国以上で出願し、日中米欧を含む20か国以上で登録済。  
その他、10件以上の特許出願を実施しております。)

2

世界にほぼ無尽蔵に存在し、日本においても自給率100%\*<sup>2</sup>を超え、  
安価に入手可能な石灰石を主成分とする素材

3

水や木をほぼ使用することなく紙を製造でき、  
また、石油由来成分を抑えプラスチックを製造可能

- \* 1: アメリカ、ヨーロッパ、中国、インド、ロシア、ブラジル、アラブ首長国連邦、韓国、台湾、インドネシア、タイ、フィリピン、ベトナム、アルジェリア、ナイジェリア
- \* 2: 日本国内の石灰石埋蔵量は約240億トンに対し、国内生産量は約1.4億トン（経産省資源エネルギー庁）また世界の石灰石埋蔵量は「多量」に存在（USGS Mineral Commodity Summaries 2013）

Strictly  
Confidential TBM CO.,Ltd

# 新素材開発の事例 (LIMEX)

## 最近の主な導入実績 (印刷物) -①

### メニュー表

### バックライトパネル

三光マーケティング

フライングガーデン

スシロー

リンガーハット



### リーフレット・POP

### 中吊りポスター

ポプラ

国際自動車

伊藤園

サントリー (電車中吊り)



Strictly  
Confidential TBM CO.,Ltd

# LIMEXペレット（プラスチック代替）

石灰石を50%以上含み、プラスチック成分(石油由来原料)を大幅に削減

従来のプラスチック

石油由来樹脂  
100%

LIMEXペレット  
(LIMEXシートも同様)

石油由来樹脂  
20~50%\*

石灰石 80~50%\*

\* 上記配合比率は一例です



**\* LIMEX × BioPlasticで 100%非石油由来製品を発表**

TBM、G20イノベーション展にて  
100%非石油由来のLIMEX Bagを発表



弊社は、石灰石を主原料にした100%非石油由来のLIMEX製の袋の開発に取組んで参りましたが、このたび製品化の目途が立ちましたので発表いたします。また、2019年6月14日（金）～16日（日）に長野県軽井沢町において経済産業省、環境省が主催する「G20持続可能な成長のためのエネルギー転換と地球環境に関する関係閣僚会合」の「G20 イノベーション展」へ出展が決まりました。この展示の中で、紙やプラスチックの代替となるLIMEX製品他、100%非石油由来のLIMEX Bagを紹介いたします。以下のプレスリリースをご覧ください。

[プレスリリースはこちら >>](#)

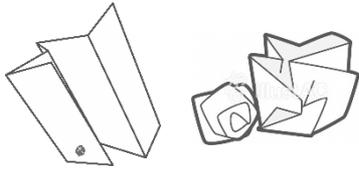
# アップサイクル全体像

使用することでの環境負荷軽減

回収することでの再資源化

再製品・利用することでのサステナビリティ

紙代替



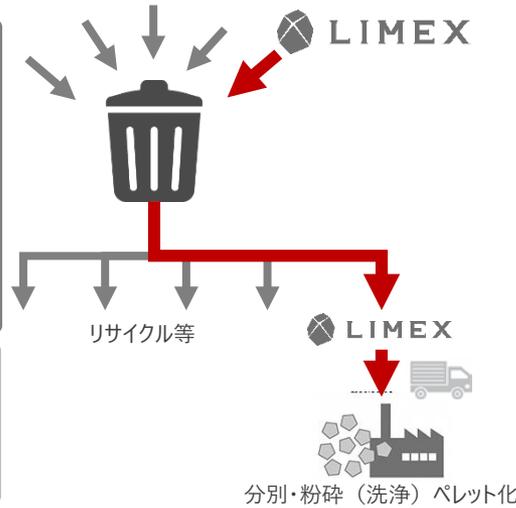
メニュー表・広告制作物など

プラスチック代替



バックライトフィルム・袋・食品トレイなど

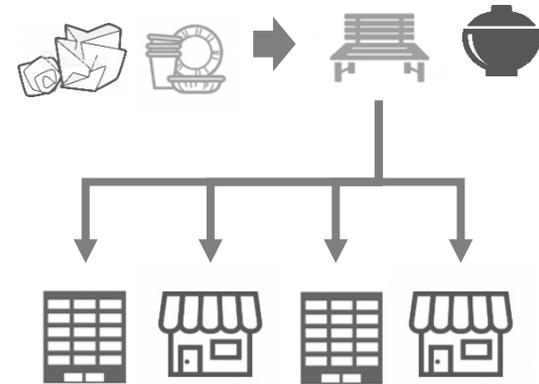
既存の仕組み



TBM

今までゴミだったもの

別の価値あるもの



SDGsへの貢献

<環境面での優位性>

紙と比べると...

- 水資源と木材資源の消費量の大幅低減

プラスチックと比べると...

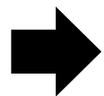
- 石油由来成分の低減

従来の処分・リサイクルに比べると...

- マテリアルリサイクルを通じて、焼却を回避し、高付加価値の製品へと転換



# 「かながわアップサイクルコンソーシアム」発足



コンソーシアム発足に向けて、22団体が参加。

# 「かながわアップサイクルコンソーシアム」発足式

## - 挨拶/宣言



## - 取組事例紹介



一般社団法人横浜青年会議所  
日本郵便株式会社  
リコージャパン株式会社  
福井県鯖江市  
株式会社ニフコ  
大日本印刷株式会社  
凸版印刷株式会社

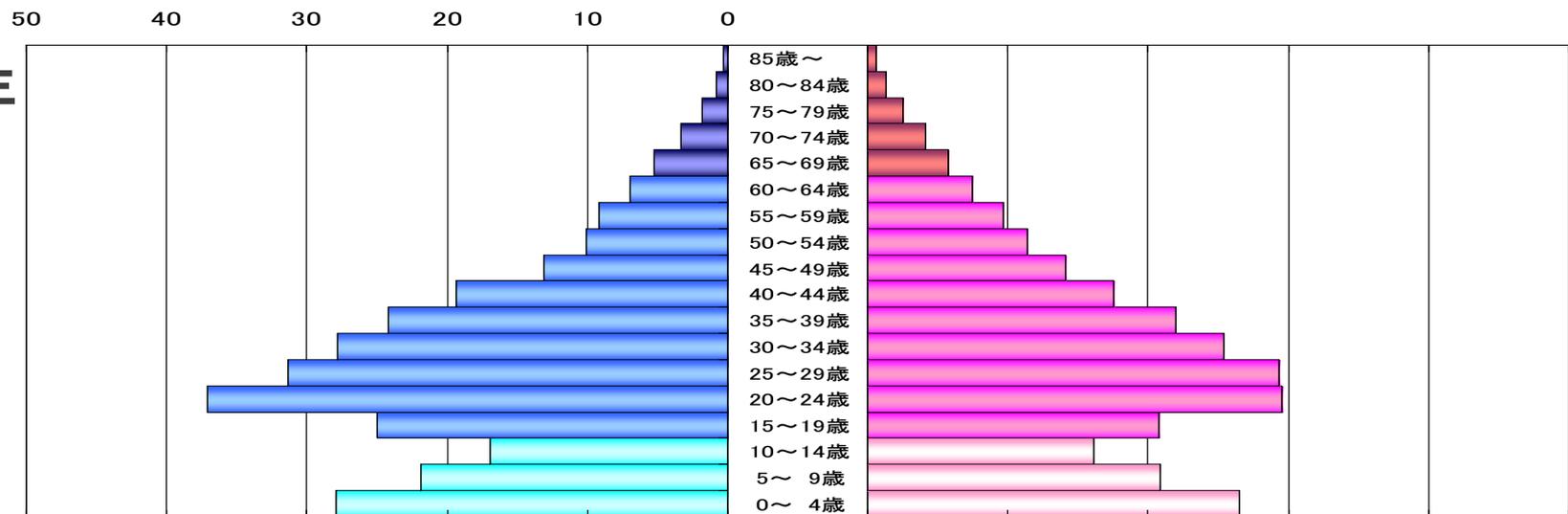
## - パートナーディスカッション



➡ 黒岩知事の挨拶、パートナー企業・団体による取組事例紹介、パートナーディスカッションなど。

# 超高齢社会の到来

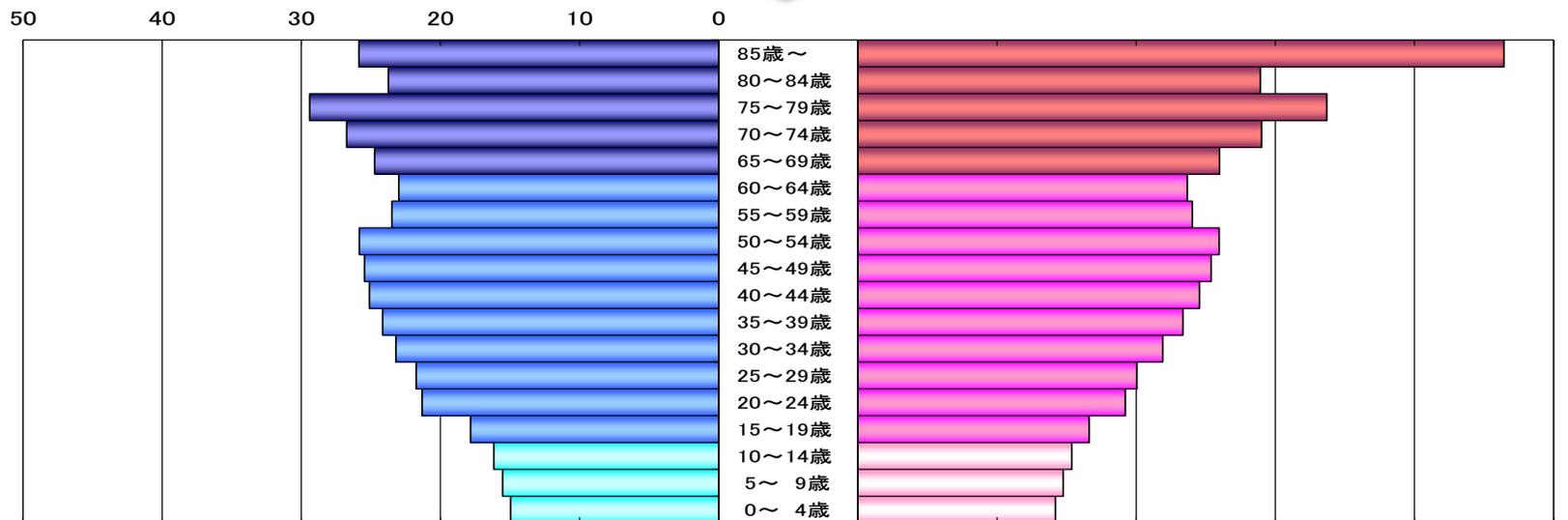
1970年



国勢調査実績



2050年



■男 ■女

# 未病とは

健康

病気

健康

未病

病気

# 未病を改善する

## ■ 3つの取組み Three actions



最先端医療・  
最新技術の追求

未病の改善



2つのアプローチを融合

健康寿命日本一 新たな市場・産業の創出

# 未病センター 誰でも気軽に健康チェック！

## 【未病センター】

県民が健康状態や体力等のチェックを気軽に、継続的に体験できる場で、市町村や企業等が設置、運営している。

県内36か所に設置（平成31年4月現在）



未病センターカーブス小田原



未病センター逗子市役所

- ①自分の健康状態が「見える化」できる（見える化）
- ②健康に関する相談・アドバイスを受けることができる（相談）
- ③食、運動などの知識の習得、情報を得ることができる（情報提供）

# 未病産業研究会



# ME-BYO BRAND

MIMOSYS(ミモシス)®  
PST株式会社



活量値 MIMOSYS  
62 m (mimo)



計測期間	2015.05.11~2015.05.22 (12日間)
通話回数	22回
発話総数	377回

活量値は良いペースですね。長時間の集中が続く時は、適当に休憩をとって、リズムを整えましょう。 [share](#)

神奈川県  
本県産業研究会

## ME-BYO

元気圧 履歴 活量値 履歴 その他

元気圧 MIMOSYS  
今回



通話開始時間	2015.05.22 11:11:52
発話した回数	17回
発話時間の合計	35秒

いつもより少し高い元気圧ですね。元気があっていいです。たまにはリラックスも忘れずに。 [share](#)

神奈川県  
本県産業研究会

## ME-BYO

元気圧 履歴 活量値 履歴 その他

## 休養時専用ウェア「リカバリーウェア」 (運動後や就寝時など)

株式会社ベネクス



# ME – BYO BRAND



未来を変えていく、健康増進型保険。

**住友生命**  
Vitality


 利用者が実際に使う様子を客観的にさめ細かく観察、改善案を検討・立案した結果を適正に反映し、使った人にとって大切に考えている日用品の証です。  
 商品登録番号: 180007 認証機関: 実利用者研究機構

2019.1 改訂版


 733

損保ジャパン日本興亜ひまわり生命  
SOMPO ホールディングス | 保険の先へ、進む。 | 平成30年4月改定 | 収入保障保険

**Linkx** | **じぶん**と家族のお守り  
無記名 無解約返戻金型収入保障保険

もしものとき、ご家族の生活をサポートする収入保障保険




 お客さまの健康を応援します  
**健康☆チャレンジ!**

損保ジャパン日本興亜ひまわり生命  
SOMPO ホールディングス | 保険の先へ、進む。 | 平成30年10月作成

**Linkx** | **笑顔**をまもる **認知症保険**  
特定告知認知症一時金特約付払込期間中無解約返戻金型特定告知介護費保険

認知症発症前からあなたとご家族をサポートする保険



# ヘルスケアICTの推進

## マイME-BYOカルテ



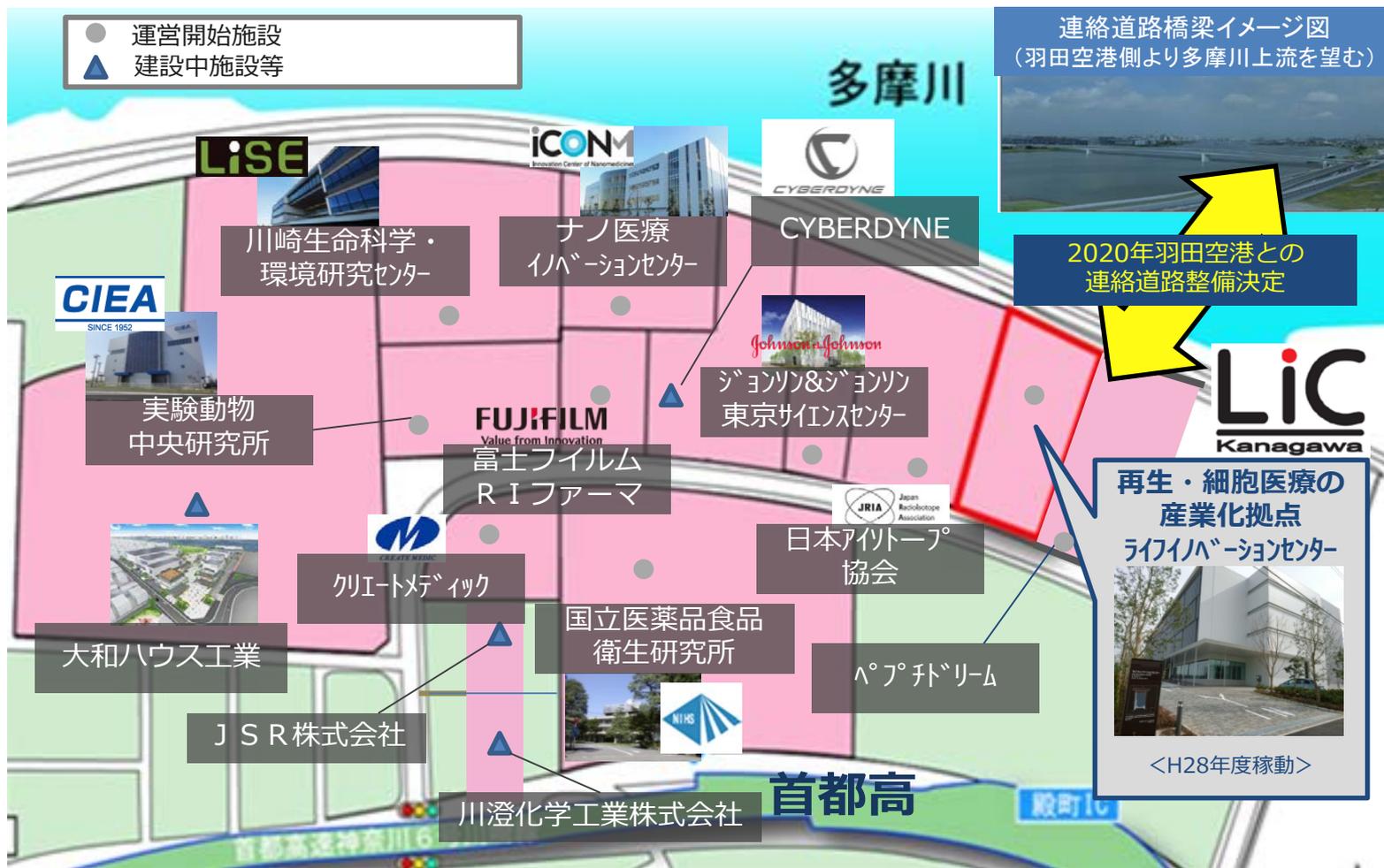
登録者数122万人  
(令和元年6月1日時点)

## 電子母子手帳



県内27市町と連携

# 殿町国際戦略拠点 <KING SKYFRONT>



# ヘルスイノベーションスクール（SHI）の概要

## 【目的】

保健医療分野におけるイノベーション人材の育成

## 【設置形態】

2019（平成31）年4月、公立大学法人神奈川県立保健福祉大学大学院に、ヘルスイノベーション研究科（通称：ヘルスイノベーションスクール）を設置

## 【設置場所】

川崎市殿町地区

## 【学位】

修士（公衆衛生学）Master of Public Health

## 【修業年限】

2年

## 【定員】

15名

## 【履修言語】

英語（一部授業を除く）

## 【カリキュラム例】

- ・共通科目 未病特論、データサイエンス 等
- ・公衆衛生学基盤科目 疫学概論、生物統計学 等
- ・ヘルスイノベーション専門科目 ヘルステクノロジー、マーケティング・ストラテジー 等
- ・実習・特別研究科目アントレプレナーシップ、フィールド実習 等

ヘルスイノベーションスクール



# 神奈川県が展開するグローバル戦略

## 欧州 Europe

- イギリス UK
- フィンランド オウル市 Finland
- ドイツ バーデン・ビュルテンバルク州 Germany
- WHO (世界保健機関)

## 神奈川県

## アジア Asia

- シンガポール Singapore
- インド アユシュ省 India
- 中国 遼寧省 China

## 米国 USA

- マサチューセッツ州 Massachusetts
- メリーランド州 Maryland
- スタンフォード大学医学部 Stanford University

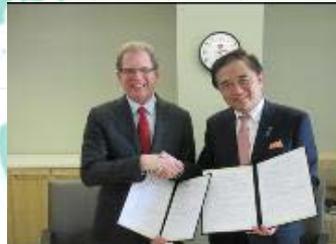
● = MOU 締結機関



米国・マサチューセッツ州



米国・メリーランド州



スタンフォード大学医学部



英国・セルアンドジーンセラピーカタパルト



フィンランド・オウル市



ドイツ  
バーデン・ビュルテンバルク州



WHO



シンガポール政府機関



インド・アユシュ省



中国遼寧省

# 世界保健機関（WHO）訪問

マーガレット・チャン事務局長(当時) との会談（2016年10月）



# ME-BYOサミット神奈川2017 in 箱根

テーマ：未病の指標化

健康  
Healthy

未病  
ME-BYO

病気  
Sick

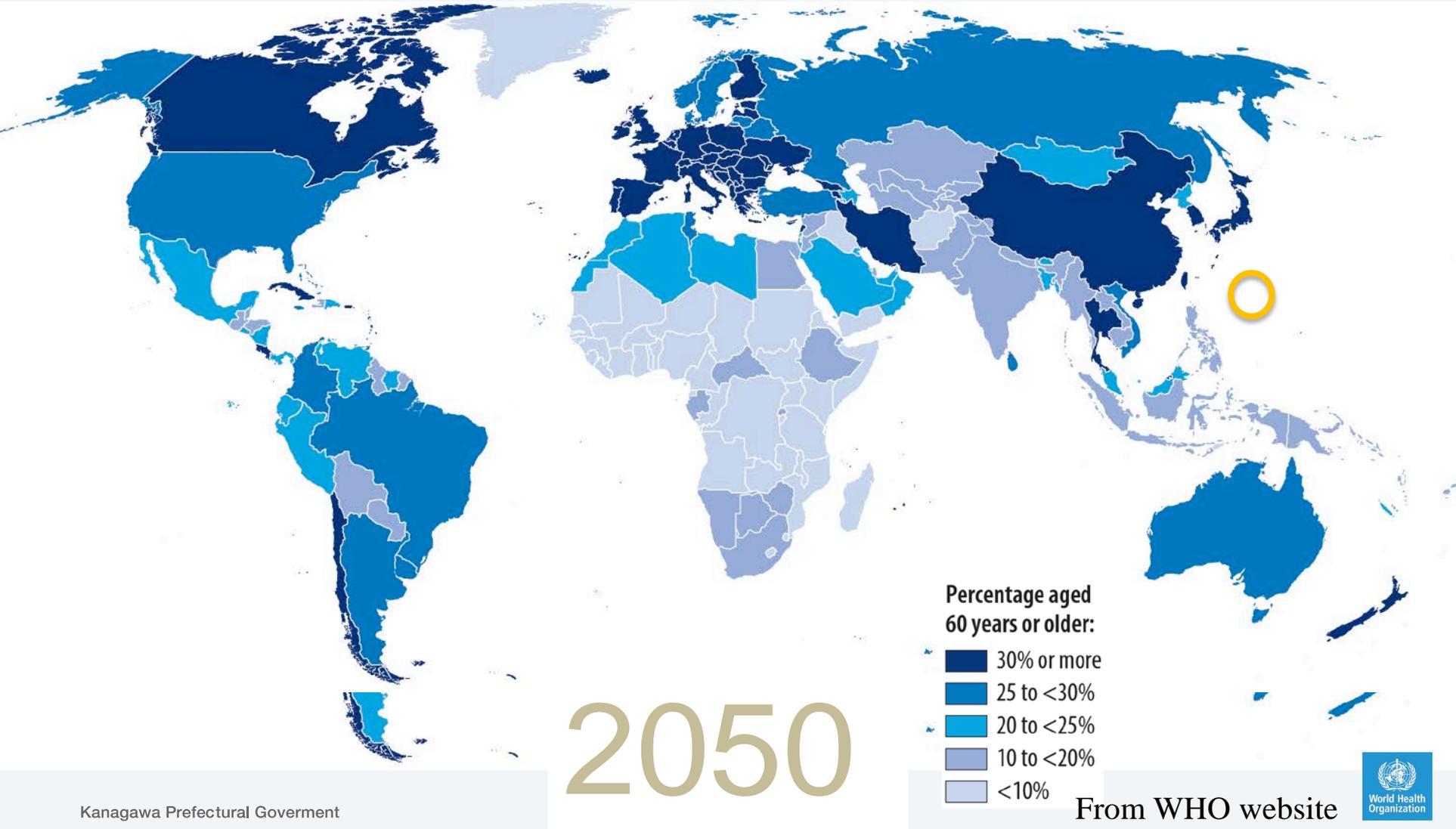


(2017年10月20～21日 箱根町)

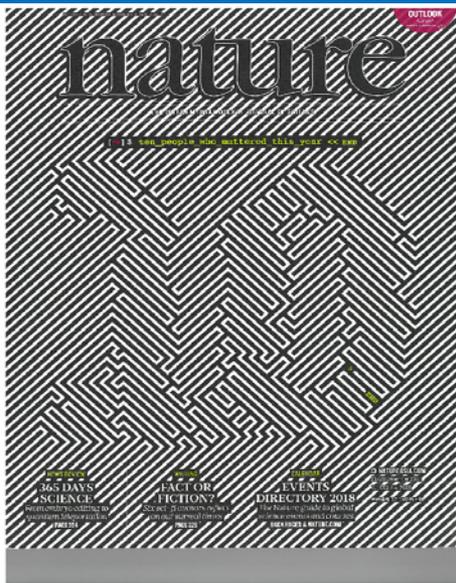
# WHOエイジフレンドリーシティ（22市町村参加）



# Populations are getting older all over the world.

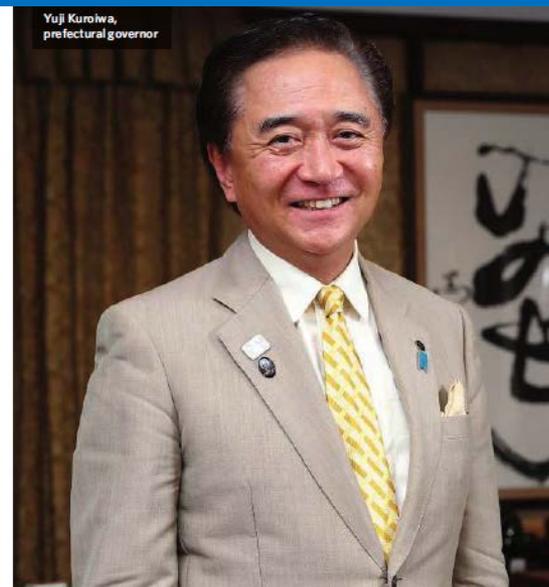


# ネイチャー誌への掲載



## Transforming healthcare based on ME-BYO

The Kanagawa prefectural government is accelerating advances in healthcare through academia-industry-government collaborations rooted in **THE ME-BYO CONCEPT** — a unique response to Japan's ageing society.



Yuji Kuroiwa, prefectural governor

## Interview with Yuji Kuroiwa: a novel approach to the ageing challenge

Addressing the needs of Japan's rapidly ageing population is a major challenge for policy-makers. Yuji Kuroiwa tells Andréia Azevedo Soares why that challenge is an opportunity to boost wellbeing and growth.

**Q: You were a journalist for many years, how did you become interested in public health?**

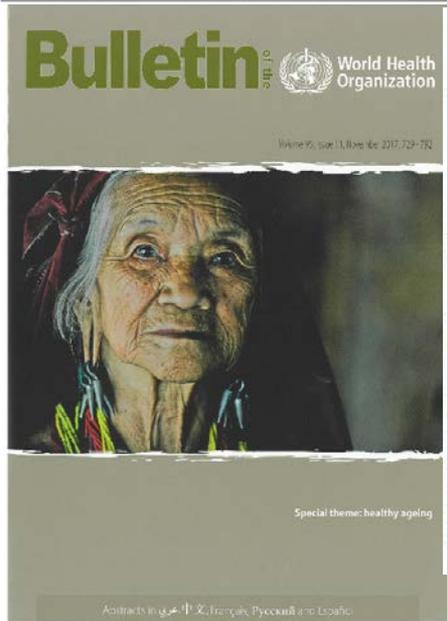
**A:** While working as the anchor of a national television news programme, I was shocked to learn that patients were dying due to the lack of medical services in ambulances in Japan. Between 1989 and 1991, I campaigned for ambulance teams to provide emergency medical services and did several television reports on how other countries, such as the United States of America and France, in-

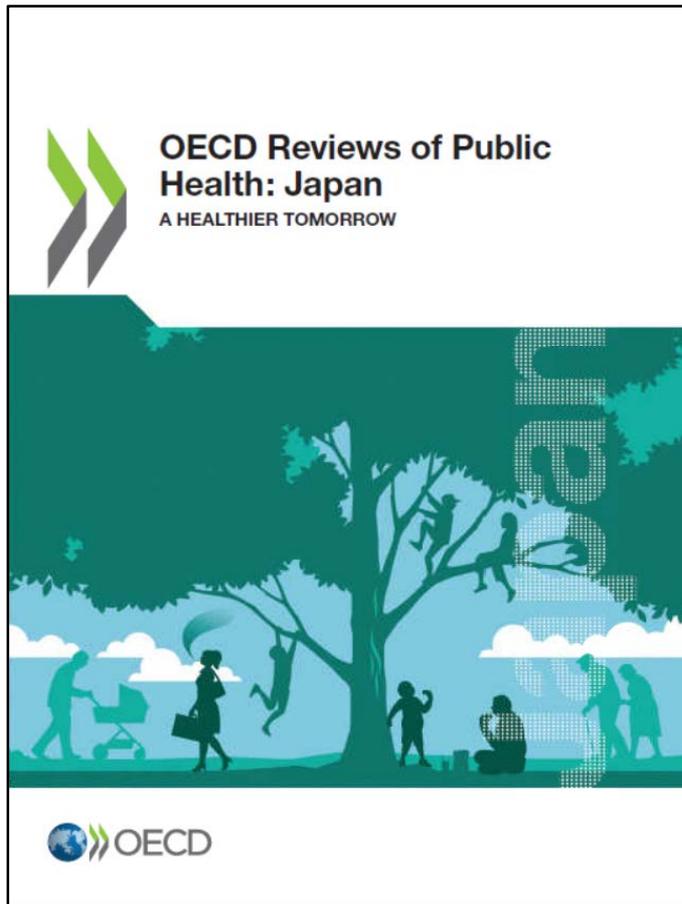


Courtesy of Yuji Kuroiwa

Yuji Kuroiwa

Yuji Kuroiwa is leading efforts in Japan to address age-related challenges. He was first elected governor of the Kanagawa Prefecture in 2011, then re-elected in 2015 for another four-year term. Since 2013, Kuroiwa has been a member of the Council of Health-care Policy Advisors of the Japanese government. Before that, he was a professor at the International University of Health and Welfare Graduate School from 2009 to 2011 in Tokyo teaching health-care journalism. From 1980 to 2009, Kuroiwa worked at the Fuji Television Network, Inc., where he served as a news anchor for more than 20 years. During that time,





**Me-Byo** is an invented word meaning preventing diseases and managing healthier status even with a health issue.

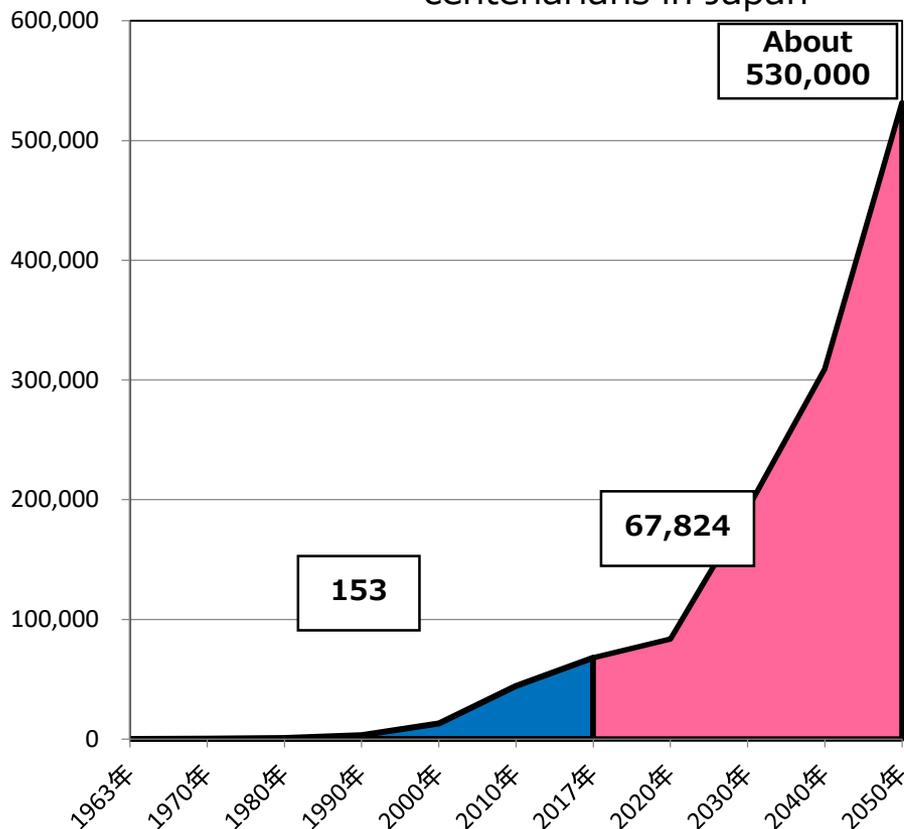
**未病 (ME-BYO)**とは、病気を予防するとともに、健康上の問題を抱えていてもより健康な状態へ改善していくことを意味する言葉である。

# 人生100歳時代の設計図

## Life Design as Centenarian

### 100歳以上の人口の推移・推計

Transition of the population of centenarians in Japan



2050年には、192人に  
1人が100歳以上！！

In 2050, one in 192 people will be a centenarian!!



「未病を改善する」その先に

人生100歳時代の設計図

“Managing ME-BYO” connects with Life Design as Centenarian

# 人生100歳時代に向けたコミュニティの再生・活性化

## コミュニティのチカラ

若葉台団地  
(横浜市旭区)

- ・ 高齢化率は全国平均の1.7倍
- ・ 要介護認定率は全国平均の3分の2

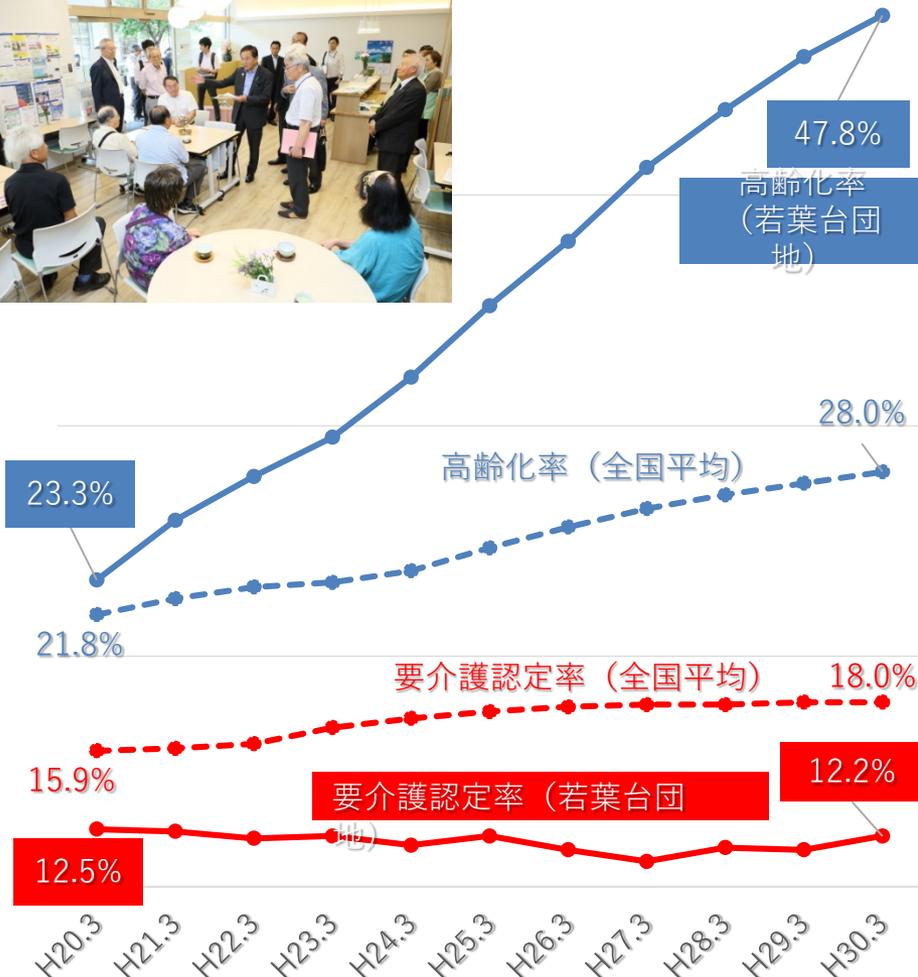


### <特徴>

自治会活動が盛ん

多世代交流の場の確保

スポーツイベント等の企画



# 人生100歳時代に向けたコミュニティの再生・活性化



# 人生100歳時代に向けたコミュニティの再生・活性化

## ＜市町村と連携した取り組み＞

2019.7～

### かながわコミュニティ再生・活性化推進会議

県と全市町村参加の検討組織で様々な情報と実践への仕掛けを共有

優良事例等  
の共有

活躍人材への  
スポットライト

テクノロジーや  
ナッジの導入

#### ＜事例＞

・地域通貨(台帳)を使い、ちょっとした困り事  
の情報を共有し住民同士で助けあう

- ・地域コミュニティが活性化！
- ・地元のショップとも連携し、割引等に活用！
- ・転入者のコミュニティ参加もスムーズに！

・イベント情報と併せて  
ボランティアも募集できる  
アプリケーション

・関係人口の増加※

※「関係人口」とは、移住した「定住人口」でもなく、  
観光に来た「交流人口」でもない、地域や地域の  
人々と多様に関わる人々のこと。





# 笑いあふれるコミュニティを支えるデータ・技術

Data and technology for Community Full of Laughter

**Education**  
最先端の教育



**Mobility**  
自由に動ける



**ME-BYO/Health Data**  
地域で健康に



**Energy**  
コミュニティで最適管理



**Drone**  
空飛ぶ宅配便



laughter  
笑い



**Community**  
コミュニティ

**Telemedicine**  
遠隔医療  
いつでもどこでも



**Robot**  
介護、癒し、共生  
コミュニケーション



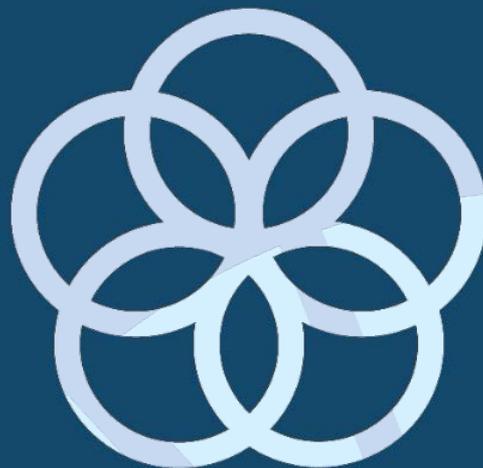
**Entertainment**  
ゲーム、体験、  
バーチャルイベント



Data Linkage・Utilization  
データ連携・活用



# 17 パートナーシップで 目標を達成しよう



# SDGsで連携協定

## SDGs Promotion Agreement



○  横浜銀行

○  KEIKYU  
京急電鉄

○  日本生命  
NISSAY

○  SoftBank

○  株式会社 **セブン&アイ** HLDGS.

○  MS&AD 三井住友海上

○ **TBM社**  
(  LIMEX )

○ **WOTA社**  
(災害時用循環シャワー)

○ 小田急電鉄

# SDGs全国フォーラム2019

< SDGs ALL JAPAN MEETING 2019 >

2019年1月30日(水) 10:00~17:30

パシフィック横浜 会議センター503

定員: 450名 参加無料 (事前申し込み制  
応募多数の場合は抽選)



主催: 神奈川県 共催: 横浜市、鎌倉市

後援: 内閣府、外務省、環境省、地方創生SDGs官民連携プラットフォーム

(一社)SDGs市民社会ネットワーク、(一社)日本経済団体連合会、国連広報センター、

(一社)グローバルコンパクトネットワーク・ジャパン、全国知事会、全国市長会、全国町村会

協力: (公財)地球環境戦略研究機関 メディアパートナー: 朝日新聞社、神奈川新聞社



黒岩祐治(神奈川県知事)



榎本かおる(国連広報センター所長)



松尾崇(鎌倉市長)



国谷裕子(キャスター)



河口真瑠子(大和総研研究主幹)



水野雄弘(TREE代表取締役)



西江重史(環境省計画政策課長)



西田かをり(CSOネットワーク事務局長 兼職)



末吉里花(エシカル協会代表理事)



上田社一(Think the Earth理事)

申込者数: 1,757名

最終出席者: 1,215名



## 第1部 「SDGs日本モデル」宣言発表！





# 「SDGs日本モデル」宣言

私たち自治体は、人口減少・超高齢化など社会的課題の解決と持続可能な地域づくりに向けて、企業・団体、学校・研究機関、住民などとの官民連携を進め、日本の「SDGsモデル」を世界に発信します。

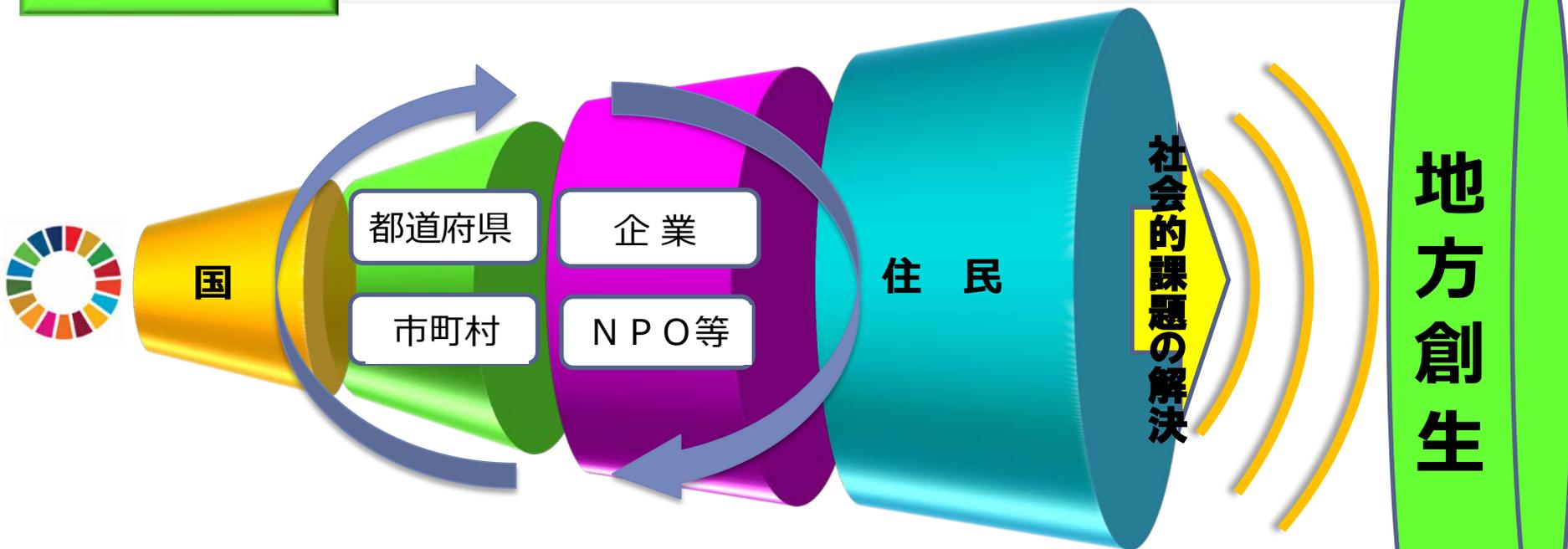
- 1 SDGsを共通目標に、自治体間の連携を進めるとともに、地域における官民連携によるパートナーシップを主導し、地域に活力と豊かさを創出します。
- 2 SDGsの達成に向けて、社会的投資の拡大や革新的技術の導入など、民間ビジネスの力を積極的に活用し、地域が直面する課題解決に取り組みます。
- 3 誰もが笑顔あふれる社会に向けて、次世代との対話やジェンダー平等の実現などによって、住民が主役となるSDGsの推進を目指します。

## 130自治体が賛同

# 「SDGs日本モデル」の概念図

## SDGs 日本モデル

地方自治体が国や民間企業・NPO等と連携して、地方からSDGsを推進し、地方創生を目指す



### 民間企業・NPO等

- 課題解決手法の 開発・提供
- ビジネスによる地方創生への貢献

### 国

- 国としての取組方針
- 自治体への支援

Kanagawa Prefectural Government

### 都道府県

- 市町村を超えた連携の促進
- 活用可能な政策ツールの開発・提供

### 市町村

- 事業推進のための政策形成
- 官民・市民連携による事業推進



# SDGs全国フォーラム2019

当日、26自治体首長らが宣言に署名



# KANAGAWA SDGs PARTNER



「かながわSDGsパートナー」募集!

第1期 募集期間

2019 1.18 ~ 2.28

## 49企業・団体が「SDGsパートナー」に登録



# 中小企業向けSDGsガイドブック



私たちのつとめ行動が、  
未来につながる。  
SDGs 未来都市 神奈川県

事例から学ぶ /

中小企業のための

かながわ

## SDGs ガイドブック



## SDGsで“いのち輝く神奈川”を実現



神奈川県は、県の総合計画「かながわグランドデザイン基本構想」の基本理念に、  
「いのち輝く神奈川」を掲げています。県民の「いのち」を輝かせるために、  
医療だけでなく、環境、エネルギー、農業などの施策を連関させ  
総合的に施策を展開しています。

2015年9月、国連サミットにおいて採択された、持続可能で平和な社会を目指す  
世界共通の目標「持続可能な開発目標 (SDGs)」の理念は、  
これまで進めてきた「いのち輝く神奈川」の取組と軌を一にするものです。  
こうした取組が評価され、2018年6月、本県は、国の「SDGs未来都市」及び  
「自治体SDGsモデル事業」の両方に全国で唯一、都道府県として選定されました。  
今後もSDGs先進県として先頭を走っていきます。

### 持続可能な開発目標 (SDGs: エスディージーズ) とは?



SDGsは、「2030年に世界がこうあってほしい」という姿から設定されている未来志向の目標で、  
17の目標(ゴール)、169のターゲットで構成されています。「誰も取り残さない」持続可能な社会  
の実現に向けて、SDGsでは、持続可能な開発の3本柱とされる経済、社会、環境分野における  
課題にバランスよく取り組み、政府、企業、市民など多様な主体による行動が求められています。

# 中小企業向けSDGsガイドブック



## ハートフルタクシー 海老名市



「思いやり」と「やさしさ」日本一のタクシーを目指して～  
女性ドライバー活躍の環境を整えることで、企業価値も高まる

ハートフルタクシーでは、無料の保育所を事業所内に設置したり、タクシー業界では珍しい固定給制を導入するなど、働きたくても時間の制約等があった働きづかった子育て中の女性が働きやすい環境を整備することで、女性ドライバーが多く活躍しています。これが、ドライバーの雇用確保だけでなく、女性目線の子育て支援タクシー、陣痛タクシーや買い物支援など女性や高齢者のニーズにあったサービスを提供することで、電話での配車率が90%を超え、日中は配車待ちが出るなど営業的にも成功しています。地域社会への貢献、顧客、取引先、社員など会社に関係するすべての人々の幸せの追求、社員の「誇り」と「生きがい」、すべての社員が平等で対等など、SDGsに通じる7つの経営理念を掲げ、全従業員にこの経営理念を共有することが、同社の取組の鍵となっています。



## 神奈川県管工事業協同組合 海老名市



災害に強く、持続可能な水道サービスの提供で、  
地域の安全と安心をまもる

神奈川県で水道工事を行う254の中小規模事業者を組合員とする組織である神奈川県管工事業協同組合は、管路管理の豊富な経験を活かして、安定した水道水供給に貢献しています。また、風水害や地震などの自然災害の際に最も重要となる水道インフラの復旧に会社の枠を超えてあたるとともに、他の地域の災害復旧へも現地支援しています。災害時における水道サービスの普及は近年ますます重要性を増しており、組合員に対する研修の実施など協同組合ならではの事業を展開しています。また、箱根地区における全国初めての水道事業の包括事業委託においても、管路管理の実績や災害復旧時対応などのノウハウを基盤に参加し、官民パートナーシップによる水道事業運営にも関与しています。また、若手の育成、水道に関する普及啓発などにも力を入れており、次の世代まで続く持続可能な水道サービスの提供を目指しています。

インフラ復旧訓練状況



## 由紀精密 茅ヶ崎市



モノづくりで世界を幸せに～  
技術イノベーションでSDGsに貢献!

「モノづくりの力で世界を幸せに」が、由紀精密のミッション/存在価値であり、長期ビジョンを大切に、2050年までのターゲットを設定した経営をしています。背骨が曲がってしまう高齢者の健康寿命を延ばしたいと脊椎インプラントの手術用器械部品を開発し、世界でもっとも小さい穴から脊椎の手術を可能にしました。また、宇宙ごみを掃除する技術や、森林を自立してメンテナンスするロボットの開発などにも取り組んでいます。SDGsは、グローバルスタンダードであり、きちんと理解すれば、隣の会社でも、世界とも話が通じるようになると考えています。SDGsも念頭に、「研究開発型」町工場では、人間の可能性を広げるような技術で、地域と地球の幸せを追求しています。



## 横浜市資源リサイクル事業協同組合 横浜市中区

子供の提案に背中を押された!  
地産地消×地域循環をリユースびんが繋ぐ

物流面も含めたコスト、容器改革、ライフスタイルの変化などにより、圧倒的にリユースびんの数は減っています。地域の酒屋さんの数も減り、ビールびんや一升びんを回収する文化はなくなりつつありますが、その価値を事業者としても再認識させられたのが環境絵日記を通しての小学生の提案でした。組合では、地域経済の活性化

## はなまる農園 小田原市

自然と身体に優しい農業で、  
ひとと社会に貢献

農家は自分達用に「も」野菜を作った見目はあまりよくなかったりしますと身体に優しい形で生産したいという誕生しました。農業、化学肥料を産物の価値を上げて生産者の利益を省くことで最終的な売価を他商品と同等にしています。また、農園にレストランを併設する取り組みもしています。野菜の旬を理解し、また多少見目は劣っても自然に消費してもらうことにより、無駄なものの3分の1が廃棄になってしまっている現状も変えられるはず。農作物そのものでも加工品でも、地産地消の仕組みを通じてひとにも自然にもやさしい農業を実践しています。



# 中小企業向けSDGsガイドブック

## 能な開発目標 (SDGs) 活用事例



います。とてもおいしいけど、そんな野菜を地元で自然う思いから、はなまる農園は一切使わない有機農法で生確保しながら、中間業者を影が出ないようにしています。ど農業の6次産業化にも取無理せず自然に育てること、ったおいしい野菜や果物をエネルギーの消費や、農産物



### 川田製作所 小田原市



一人一人のニーズに合わせた働き方で、誰も取り残さないIT化とダイバーシティ経営で危機を乗り越える

電機・電子部品の精密加工業界は、技術の進歩による状況の変化が目まぐるしく、非常に厳しい業界です。部品の量産が可能になると、コストの安い途上国に拠点が移ってしまうことも多く、事業の安定と雇用を確保することが大きな課題でした。副社長がIT業出身ということを活かして、川田製作所は、事業のあらゆる領域において、ITを活用する取組みを進め、グーグルやクラウドサービスを活用した生産管理システム、生産記録の電子保管などを進め、大幅にペーパーレス化や業務効率化を進めました。現在、全従業員70%以上が、高齢者、障がい者、外国人です。多様な人材の雇用は、人材の確保だけではなく自社の活性化にもつながっています。こういった「ダイバーシティ経営」の鍵は、多様な社員のニーズ、得意、不得意を把握し、仕事を分配することにあります。



自のリユースびんを開発、洗浄し、再び中身を充填するリユースの仕組みを回す、環境負荷も減ります。中身「循環」をコンセプトとして選みみかんなどを使用、子どもえ、生産者と消費者を「リユース」事業として成長しています。



### (株) 太陽住建 横浜市



地域の人たちとのつながりを通じて、再生エネルギーの普及と多様なひとたちの雇用を同時にすすめる

住宅リフォームや太陽光発電システムの販売・設置等を行なっている太陽住建のコンセプトは、仕事を通じた顧客の人生の「大地」ともいえる住まいを豊かにすること。地域貢献にも力を入れており、地域住民が集う「井土ヶ谷アーバンデザインセンター」の運営などを通じて、地域の人々とつながりを重視した経営を進めています。そのようなつながりの中から、介護施設等の屋根を借りて太陽光発電システムを設置して、再生エネルギーによるクリーンで災害に強い、より安心で安全なエネルギーを普及させたり、障がい者を支援する団体やNPOと協力して、太陽光パネルの設置等の工事や顧客発掘に障がい者を登用して新たな活躍の場を提供するプロジェクトが生まれています。昨今では、シニア層の活用も進めています。再生エネルギーの普及、それによる災害に強いまちづくり、そしてすべての人々が生きがいを持って働ける場の創出など異なる分野の相乗効果を図る活動の展開は、SDGsの理念とも合致します。



### 横浜建物管理協同組合 横浜市



自分達もお客様もハッピーに～障がい者トレーニングでウィンウィンを実現

公共施設の清掃業務は価格のみの競争入札によって決定するため、最低賃金制度があるものの価格は最低レベルになっています。こういった経済性のみを考慮する厳しい業種にあって、社会課題である障がい者雇用を前向きにとらえ、活動に取り入れたのが横浜建物管理協同組合のワンセルフプロジェクトです。一日中拘束されずに、短時間の作業を組み合わせることで出来る清掃作業が障がい者に適していることに着目し、障がい者が清掃業の即戦力になるよう出前トレーニングを各地の中学校などで実施するだけでなく、清掃のノウハウを伝える学習ビデオを作成。横浜国立大学と協力して、仕事をしやすくするユニバーサルデザインの研究を実施するなどの工夫もしています。障がい者教育やトレーニングは行政の仕事と思われがちですが、SDGsの精神「誰も取り残さない」を念頭に、組合に加盟している中小企業が一丸となって取り組んでいます。



# かながわSDGsアクションブック



# かながわSDGsアクションブック



## SDGsアクション⑩かながわ 《生活協同組合ユーコープ》

### 余った食品を集めて 必要な人たちに渡す



### 貧困と食品ロス、2つの課題を解決するしくみ

「貧困をなくそう」と聞くと、日本から遠く離れた途上国が思い浮かぶかもしれない。しかし、日本でも国内の経済的な格差が広がっていて、食べ物に困っている家庭はたくさんある。

その一方で日々、日本中で大量の食品が捨てられているのも事実。食べきれなかった、商品の箱の角がわずかにつぶれた、野菜の形がいびつ……。まだ十分に食べられるものが、どんどん捨てられている。そこで、まだ食べられる食品は捨てずに必要な人に届けよう、という動きが始まっている。

生活協同組合ユーコープは近隣の生協など11団体とともにフードバンクかながわを設立。フードバンクかながわでは、配達直前にキャンセルされた商品や袋が破れたお米など賞味期限まで余裕がある食品を、食べ物に困っている人々を支援する団体に届けている。また、生協の組合員の家庭で眠っている常温保存の食品を“寄贈”として店舗に持ち寄ってもらい、フードバンクかながわに届ける「フードドライブ」という活動も始めた。

資源の有効活用や環境負荷の削減のために、食品ロスを減らすことが必要だ。食べ物に困る家庭も助けたい。「フードバンク」は人々の分かち合いを支えるしくみで、2つのマイナスを同時に解決しようとしている。



日本では、食べられるにもかかわらず廃棄される食品は年間で推計600万トン以上。ユーコープは、フードバンクや行政・社会福祉協議会を通じて、食べ物を必要とする人に届けている

★ もっと知りたい! 生活協同組合ユーコープ(横浜市) <http://www.ucoop.or.jp>  
公益社団法人フードバンクかながわ(横浜市) <https://www.fb-kanagawa.com>



# かながわSDGsアクションブック

7 エネルギーを最大限に  
生かすソリューション



SDGsアクション 7 かながわ

《 湘南電力 》

## 地域でつくった電気を 地域で無駄なく使う



### 地元産のクリーンなエネルギーを使う暮らしへ

野菜や果物などは、採れたその場所で消費するほど無駄がない。遠い場所に運べば、その間に傷んだりして捨てる部分が出るからだ。

電気も同じで、つくった場所から遠くへ送るほどロスが生じる。発電された地域で電気を消費すれば、エネルギーを最大限に無駄なく利用できる。ならば、電気も農産物のように、地域でできたものを地域で消費する「地産地消」ができればいい。それに取り組んでいるのが、地域密着型の電力会社である湘南電力。神奈川県内でつくられた電気を、地域内の企業や学校、一般家庭に供給している。

その電気は、太陽光や小規模水力、バイオマスなど、温室効果ガスを排出しない再生可能エネルギーによってつくられている。地域でつくられた電気を使う人が増えれば、クリーンなエネルギーの利用割合がそれだけ増えることになり、地球環境への負荷を減らすことができる。

いまの日本は、エネルギーの大半を海外から輸入した石油や石炭などの化石燃料に頼っている。その依存をやめることができれば、巨額の輸入費用も節約できる。地域産のエネルギーを地域で無駄なく使う。それは地域のみならず、日本中の人の暮らしを豊かにすることにもつながっていく。

### 湘南電力が起こす、4つのムーブメント

電力の  
地産地消

電力の  
有効活用

電力で  
地域貢献

電力を  
選ばう

(左頁)電力の調達先のひとつ、小田原メガソーラー市民発電所 (上)湘南電力が推進する4つの動き。収益の一部を地域貢献活動に還元しているほか、電力を「選ぶ」楽しみも提供

# かながわSDGsアクションブック

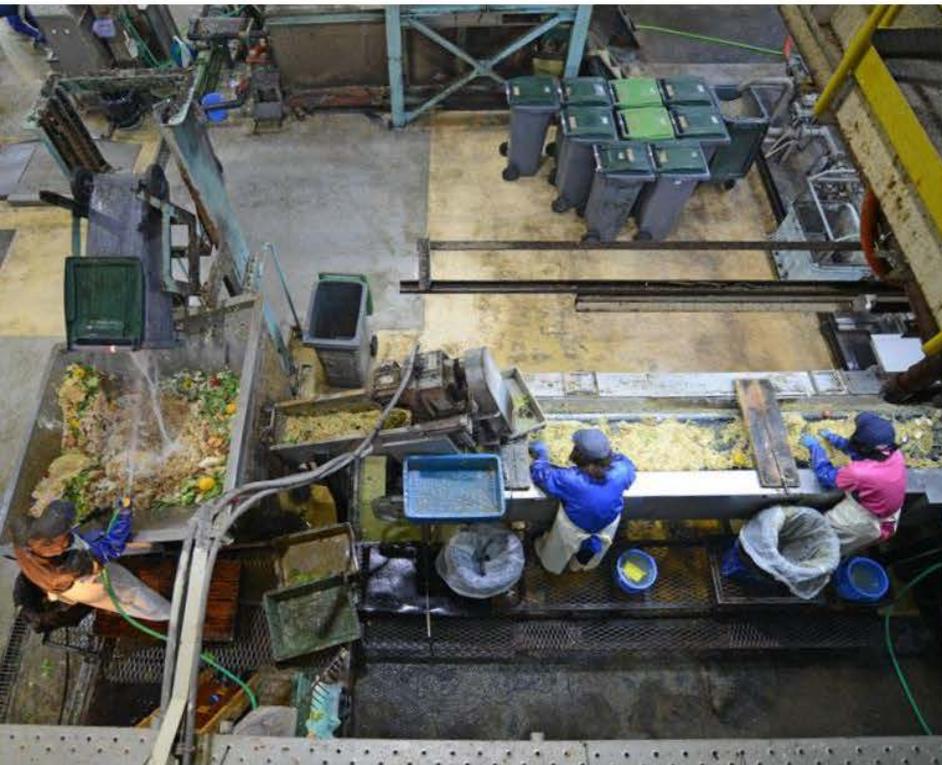
12 つくる責任  
つかう責任



## SDGsアクション 12 かながわ

《日本フードエコロジーセンター》

### 残ってしまった食べ物が 他の誰かの役に立つ



### “もったいない食品”がブランド豚に変身？

私たちの食生活はスーパーやコンビニに支えられている。しかし日々の便利さの裏側で、多くの“もったいない食品”が出ていることを知っているだろうか？

「食品ロス」とは、まだ食べられるのに廃棄されてしまう食品のこと。日本では年間646万トンも発生し、これは世界中で飢えに苦しむ人に向けた食料援助量の約2倍に当たるのだ。

日本フードエコロジーセンターはそんな“もったいない食品”を有効利用し、食品の循環を実現する会社。食品ロスをリサイクルして、豚の飼料（エコフィード）づくりが行われている。

ここでは、近くの食品工場から出た製造ロスや、スーパー・コンビニなどで出た売れ残りを回収・選別し、80℃以上の熱で殺菌。そして独自の技術で発酵させて飼料にする。食品を焼却して捨てるよりもコストダウンになるため、エコフィードは養豚農家へ安く販売できる。

このエコフィードで育った豚は環境に優しく、やわらかな肉質の「ブランド豚肉」としてスーパーに並ぶ。あなたが今日、買い物をするスーパーにも並んでいるかもしれない。



(左頁)余った食品は工場に運ばれた後、異物の混入がないか、人の手でチェックされる  
(上)エコフィードは、関東近郊の15の養豚農家で使用されている



# ま と め

○SDGsは究極の「コミュニケーション・ツール」!!

○「バックキャストिंग、包括的視点」で発想を変える !!

○ゴール17「パートナーシップ」で進める!!



**・・・でもまだ、これから。一緒に取り組みましょう!!**

# 笑いあふれる100歳コミュニティ!



私たち一人ひとりの行動が、  
未来につながる。

SDGs 未来都市 神奈川県

